

※一般演題（口演・ポスター）、共催セミナーのオンデマンド配信はございません。

NO.	セッション	演題 番号	姓	名	演題名	配信 可否
1	大会長講演	－	内門	大丈	-	○
2	前代表理事講演	－	浦上	克哉	-	○
3	厚生労働省講演	－	堀	裕行	-	○
4	特別講演1	－	武部	貴則	-	○
5	特別講演2	－	Damien Newman		-	○
6	特別講演3	－	繁田	雅弘	-	×
7	特別講演4	－	中根	一	-	○
8	特別講演5	－	Andy Seet		-	○
9	特別講演6	－	長田	乾	-	○
10	教育講演1	－	井上	祥	-	○
11	教育講演2	－	木村	成志	-	○
12	教育講演3	－	森下	竜一	-	○
13	教育講演4	－	木村	和美	-	○
14	教育講演5	－	西野	憲史	-	○
15	教育講演6	－	水間	敦士	-	○
16	教育講演7	－	萩原	悠太	-	×
17	教育講演8	－	沼尾	ひろ子	-	○
18	特別企画	－	三橋	昭	-	○
19	シンポジウム1	S1-1	三野原	敏文	糖尿病と認知症発症、および脳画像との関連：久山町研究	×
20	シンポジウム1	S1-2	杉本	大貴	高齢者糖尿病における認知機能低下予防を目指した多因子介入研究	○
21	シンポジウム1	S1-3	浅原	哲子	糖尿病におけるサルコペニア予防対策Update	○
22	シンポジウム1	S1-4	笹井	浩行	糖尿病を有する高齢者におけるフレイル・サルコペニア予防	○
23	シンポジウム2	S2-1	杉江	和馬	脳を守る生活習慣病対策と脳サプリメント	○
24	シンポジウム2	S2-2	古和	久朋	認知症予防を目指した多因子介入プログラムの効果とその社会実装	○
25	シンポジウム2	S2-3	崎山	快夫	代謝性疾患と認知症	○
26	シンポジウム2	S2-4	藤野	武彦	脳神経炎症と認知症予防の接点：プラズマローゲンの役割	○
27	シンポジウム2	S2-5	大沢	愛子	認知症に対する包括的なリハビリテーション	○
28	シンポジウム3	S3-1	伊関	千書	iNPHの最近の動向—prodromal iNPHも見据えて—	○
29	シンポジウム3	S3-2	鮫島	直之	外科医の立場から考える認知症予防とiNPH	○
30	シンポジウム3	S3-3	鐘本	英輝	iNPHにおける認知症予防とタッグテストの留意点	○
31	シンポジウム3	S3-4	中島	円	iNPHの実践的手引き書 オーバービュー	○
32	シンポジウム4	S4-1	山口	創	認知症予防のためのソマティック心理学からのアプローチの可能性	○
33	シンポジウム4	S4-2	河月	稔	臨床検査領域から認知症の予防とケアを考える	○
34	シンポジウム4	S4-3	江成	典子	認知症におけるソマティック心理学とその架け橋となる臨床検査について考える	○

※一般演題（口演・ポスター）、共催セミナーのオンデマンド配信はございません。

NO.	セッション	演題 番号	姓	名	演題名	配信 可否
35	シンポジウム5	S5-1	笠貫	浩史	Midlife以降のうつ病と認知症について—認知症予防の観点から	○
36	シンポジウム5	S5-2	眞鍋	雄太	口腔機能と神経変性疾患、認知症性疾患の関連	○
37	シンポジウム5	S5-3	三嶋	崇靖	Perry病（Perry症候群）から考えるcommon disease	○
38	シンポジウム6	S6-1	田中	亮太	脳卒中の急性期治療と再発予防からみる血管保護	○
39	シンポジウム6	S6-2	太田	康之	認知症予防における血管性危険因子	○
40	シンポジウム6	S6-3	尾原	知行	脳小血管病による認知症	○
41	シンポジウム6	S6-4	新堂	晃大	脳アミロイド血管症と認知症	○
42	シンポジウム7	S7-1	内田	一彰	J-MINT研究からの新たな知見と今後の展開	○
43	シンポジウム7	S7-2	沖	侑大郎	J-MINT PRIME Tamba研究からの新たな知見と今後の展開	○
44	シンポジウム7	S7-3	井出	恵子	J-MINT PRIME KANAGAWA研究からの新たな知見と今後の展望	○
45	シンポジウム7	S7-4	櫻井	孝	認知症予防を目指した多因子介入の世界の動向	○
46	シンポジウム8	S8-1	西井	正造	Happy & Healthy なまちづくり「イネープリングシティ」構想	○
47	シンポジウム8	S8-2	村田	尚寛	「幸福（Happy）と健康（Healthy）が両立するまち—『くらしに溶け込む医療』の実践—」	○
48	シンポジウム8	S8-3	石黒	美佳子	蒲郡市が進める「楽しい」を起点にした健康なまちづくり	○
49	シンポジウム8	S8-4	西上	ありさ	認知症の本人の声をきき、マイクロビジネス等愛でるコミュニティデザイン	○
50	シンポジウム8	S8-5	花里	真道	都市空間の健康とウェルビーイング：科学とデザイン	○
51	シンポジウム9	S9-1	長田	乾	認知予備能を鍛えて、認知症予防	○
52	シンポジウム9	S9-2	布村	明彦	認知レジリエンス増強へのアプローチ	○
53	シンポジウム9	S9-3	吉澤	浩志	認知予備能の神経基盤	○
54	シンポジウム9	S9-4	伊達	悠岳	Neucop-Qで地域に埋もれる患者さんを早期診断へ	○
55	シンポジウム10	S10-1	岩井	ますみ	認知症予防に活かす手頃に見えるおしゃれ	○
56	シンポジウム10	S10-2	山下	一郎	アクティヴ音楽回想法を通じた、団塊世代が元気になり、介護や認知症予防につながる、これからの時代の音楽療法の可能性について	○
57	シンポジウム10	S10-3	磯	忍	介護予防・認知症予防に効果的なアクティビティの活用	○
58	シンポジウム10	S10-4	相良	かおり	介護医療院における心身を活性化するアクティビティ・ケアの取り組み	○
59	シンポジウム11	S11-1	石井	賢二	認知症疾患修飾薬診療におけるモニタリング画像の課題と展望	○
60	シンポジウム11	S11-2	井原	涼子	抗アミロイドβ抗体薬の実臨床と課題	○
61	シンポジウム11	S11-3	三條	伸夫	疾患修飾薬の展望とタウ病理	○
62	シンポジウム11	S11-4	齊藤	祐子	神経病理から考える疾患修飾薬	○
63	シンポジウム12	S12-1	片山	脩	理学療法士としての認知症予防に対する取り組み	○
64	シンポジウム12	S12-2	久米	裕	生活リズムの維持と習慣化—作業療法士が支える認知症予防—	○
65	シンポジウム12	S12-3	高山	優子	医療現場における認知症予防への言語聴覚士の関わり	×
66	シンポジウム12	S12-4	児玉	直樹	認知症予防における療法士が知るべき画像診断の基礎知識	○
67	シンポジウム13	S13-1	佐藤	正之	音楽療法の有効性と科学的根拠	○
68	シンポジウム13	S13-2	近藤	真由	現場における音楽療法の実践	○
69	シンポジウム13	S13-3	落合	洋司	『Community Based Music（音楽でつながる地域社会）』の活動	○

※一般演題（口演・ポスター）、共催セミナーのオンデマンド配信はございません。

NO.	セッション	演題 番号	姓	名	演題名	配信 可否
70	シンポジウム14	S14-1	安倉	央	薬剤師による認知症予防～1次予防と2次予防を中心に～	×
71	シンポジウム14	S14-2	片山	真二	北海道における薬剤師認知症対応力向上研修の取り組みについて ～医療・介護と連携するための実践的アプローチ～	○
72	シンポジウム14	S14-3	木曽	江律子	在宅での認知症ケアの実態と「薬剤師アマネ連携会議」を定期的に開催し顔が見える関係を構築した実際を報告する	○
73	シンポジウム15	S15-1	山本	美輪	認知症看護・ケアの基本的な考え方	○
74	シンポジウム15	S15-2	西村	美穂	パーソン・センタード・ケア	○
75	シンポジウム15	S15-3	松井	幸子	認知症に対するチームケア・多職種連携	○
76	シンポジウム15	S15-4	三好	陽子	チームケアと家族	○
77	シンポジウム16	S16-1	上原	孝介	認知症カフェとミーティングセンター	○
78	シンポジウム16	S16-2	青山	聡子	診断後支援のピアサポート	○
79	シンポジウム16	S16-3	竹本	与志人	認知症の診断後支援における経済支援の重要性と課題	○
80	シンポジウム16	S16-4	繁田	雅弘	認知症ケアにおける意思決定	○
81	シンポジウム17	S17-1	唐澤	秀治	問診票を活用した認知症のスピードスクリーニング	○
82	シンポジウム17	S17-2	岩原	昭彦	主観的認知機能低下（SCD）をめぐる包括的アプローチ： 予防医療における脳神経外科医と心理職の協働に向けて	○
83	シンポジウム17	S17-3	上田	孝	抗アミロイドβ抗体治療に対する脳神経外科の取り組みと精神科主体の 認知症疾患医療センターとの関わり	○
84	シンポジウム17	S17-4	塩崎	一昌	抗アミロイドβ抗体治療が開始された後の当精神科診療所の診療の変化と 脳神経外科への期待	×
85	シンポジウム17	S17-5	厚地	正道	要介護1～2の認知症患者をいかに減らすか ～レケビ・ケサンラ点滴治療と水頭症手術の推進～	○
86	シンポジウム18	S18-1	浦上	克哉	認知症予防～日本と台湾の交流に向けて～	○
87	シンポジウム18	S18-2	Hung-Hsun Ko (Oliver)		Lifestyle redesign to prevent dementia ～Taiwan experience	○
88	シンポジウム18	S18-3	Paul Po-Chen Chen		The effects of aromatherapy in Dementia patient with psychological manifestations	○
89	シンポジウム18	S18-4	Yueh-Yuan Chang		Aromatherapy for Dementia Prevention in Taiwan: Systematic Review and Evidence from Clinical and Community Interventions	○
90	シンポジウム18	S18-5	Ju-Yi Lin		Personalized Non-Pharmacological Dementia Interventions in Taiwan: Insights from 11 Years of Practice-Based Experience in Taiwan	○
91	シンポジウム19	S19-1	岸	功規	森林空間を活用した地方創生の取組	○
92	シンポジウム19	S19-2	大津	唯	緑地と認知機能の関連性に関するメタアナリシス	○
93	シンポジウム19	S19-3	有馬	遥太郎	日本国内における森林率と認知機能についての調査結果	○
94	シンポジウム19	S19-4	郡司	聖	認知症予防に効果的な森林内での活動プログラムの提案 ー森林空間を活かした高齢者主体の活動の視点からー	○
95	シンポジウム19	S19-5	住友	和弘	認知症・うつ・フレイル予防への森林活用事例	○
96	シンポジウム20	S20-1	河月	稔	みんなで活躍！完成！認知症予防スライド	○
97	シンポジウム20	S20-2	小田	実千代	思いはこうして実践！認知症予防活動	○
98	シンポジウム20	S20-3	高村	好実	起業して社会に挑戦！認知症予防事業	×
99	シンポジウム21	S21-1	中根	裕	モビリティ支援の現状 ～全国的な視点から～	○
100	シンポジウム21	S21-2	杉山	仁	チョイソコに見る移動支援サービスの開発過程と展開	○
101	シンポジウム21	S21-3	塚田	雄也	高齢者の移動を守るー地域交通のミライに向けたチャレンジー	○
102	シンポジウム21	S21-4	篠原	俊正	タクシーが取り組む高齢者外出支援事業	○
103	シンポジウム22	S22-1	内田	直樹	地域での認知症予防と支援について 認知症専門医の立場から	○
104	シンポジウム22	S22-2	瀬尾	利加子	認知症予防は専門家の話？それとも私・地域の話？	○
105	シンポジウム22	S22-3	菅原	健介	2024ForbesJapan世界を救う100の希望選出された認知症ケアの実践と炎上	○